



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2000 : ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

「ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続」

1999～2000年度・国際ロータリーテーマ／カルロ・ラビッツア会長

「皆のロータリー—新しい発想と実践」

1999～2000年度・東京新南ロータリークラブテーマ／渡部 元会長

本日の例会 10月15日 第628回例会

◎卓話 「宇宙構造物の建設」

清水建設(株)技術研究所副所長 松本 信二 氏

先週報告 10月8日 第627回例会



◎卓話

「私のハートビジネス」

(株)資生堂常任顧問 永嶋 久子 氏

◎会長報告

- ① 加来ガバナー補佐、伊木千代田分区幹事をお迎えして、第3回クラブ協議会を本日例会前(11:00～12:00)に開くことが出来ました。ご出席ありがとうございました。
- ② クラブ顧問会議規約を配布しました。
- ③ 会友に関して理事会で決議しました。
 - 1、当クラブは、会友制度を設ける。
 - 2、理事会はその決議により、退会会員で第3項の資格基準を満たす者のうち、クラブの活動に多大の貢献のあった会員を、会友とする。
 - 3、会友資格基準は、次の通りとする。
 - (1) 在籍20年(通算)、70歳以上の会員
 - (2) 前号に準ずる会員
 - 4、会友の処遇は次の通りとする。
 - (1) 例会ならびにクラブ行事に、会友として参加できる。(有料)
 - (2) クラブは、クラブの状況を適宜連絡する。
 - 5、本規程は、クラブの状況に応じ、随時見直すものとする。
- ④ 鍋島晴夫君は一身上の都合により99年8月31日付で退会致しました。

◎幹事報告

第2750地区小林禮次郎ガバナー公式訪問の例会を、東京南RCと合同で行ないます。
日時 10月29日(金) 12:30～13:30
場所 東京會館(東京南RC例会場) 12Fロイヤルルーム
＊準備の都合上、22日までに出欠をお知らせ下さい。

◎社会奉仕委員会報告(荒木委員長)

- 本年度新規社会奉仕活動実施プロジェクトのご案内
- ① 港区社会福祉協議会関連ボランティアグループ「車いすとともに歩く会」「ピバトランスプランテーション」へ各100,000円の寄付
 - ② 港区立高陵中学校へ「救命救急講習及び認定証交付」費用の一部100,000円の援助
 - ③ 港区立青山小学校生徒に対する盲導犬(新南2号)使用者三村栄子さんによる講演の講師料30,000円の援助。
上記②・③案件は地域社会調査委員会よりの提案により実現したものです。

◎慶事披露

- 誕生日祝／渡部一元君(10月8日)、庄司 泰典君(10月11日)、吉岡琢磨君(10月13日)

◎出席報告

- 会員70名／出席49名・欠席21名(出席規定免除者6名)
- ビジター5名

10月 秋の火曜会報告

日も短くなり、6時を回った37Fからの夜景を眺めながら、新会員のご参加も含め、歴代会長・幹事シリーズの火曜会が開かれました。司会の武下さんから、10周年というけじめ年度の河原会長、荒木幹事のご紹介。

まず、河原元会長。私も荒木さんも、お互いよく知らないままコンビを組まされました。10周年という特別年度で、レギュラー以外に、IMのホストクラブ、10周年記念イベント、年史の編纂と大変な年でした。

全会員参加を旗じるしにしてイベントをこなした結果、強い連帯感が生まれたという効果があったとしたら、大変うれしいと思います。また、青野親睦委員長提案で会員のお誕生日は自筆のメッセージを贈らせていただきました。とくにもかくにも忙しい年度でしたが、荒木幹事のご配慮で、無事やってこられました。

荒木元幹事。大きな行事が重なり、上半期は一瞬のうちに過ぎ去った感じでした。それに比べ下半期の長かったこと。河原会長の物事の考え方、人生観、倫理観、哲学、ロータリーに対する姿勢、その一番端的に現れておりましたのが「盆栽を1年間預かり、ひとつ年輪を加えてお返しする」といわれていたことです。担当年度を終えてますますクラブへの愛着心を深めたこと、そして感動の機会をあたえていただいたクラブへ、そして皆さまに感謝しております。

1次会は和やかなうちに終わり、さらにさらに秋の夜は更けて、ロータリアン虫は、2次会で盛んに鳴いておりました。(関記)

出席者26名(敬称略・順不同) 四分一、庄司、大山、宮本、吉岡、高須、金光、村山、川鍋、西澤、梶内、鈴木(康)、吉田(用)、田中、石井、荒木、横山、圓谷、岩瀬、武下、関、河原、福島、阪口、青野、大日方



10月8日／8件 20,000円

99～2000年度累計 485,300円

多額の御寄付を有難うございました。

武下朗／今月の職業奉仕月間にちなみ、永嶋先生のお話楽しみにしています。関征春／クラブ協議会ご協力ありがとうございました。感謝！！感謝！！渡部一元／お誕生日祝いありがとうございました。田中武／私の開発しましたソフトがテレビで紹介されます。今晚11時から12チャンネルの世界ビジネスサテライトです。お時間ございましたらご覧ください。THIERRY CONSIGNY／またヨーロッパに出張、当クラブのバナーをわたします。宮本正祥／後藤さん、高須さん、吉岡さん、先日はサンキュー。庄司泰典／河原先生、荒木さん、先日の火曜会・・・お疲れ様でした。又来週もよろしく。石坂二郎／ニコニコ担当です。

次週予告 10月22日 第629回例会

◎卓話予定 「ル・マン24時間」

(株)オートエクゼ代表取締役社長 寺田 陽次郎 氏

ガバナー公式訪問第3回クラブ協議会

テーマ「職業奉仕の実践と今日的課題」

日時 1999年10月8日(金) 例会前11:00～12:00
場所 東京全日空ホテル 地階 瑞雲の間 出席33名
総合司会 大日方副幹事

1. ご来賓紹介(渡部会長)

千代田分区分会ガバナー補佐 加来浩二氏(東京築地RC)
千代田分区分会幹事 伊木 宏氏(東京築地RC)

2. 職業奉仕の流れについて(関委員長)

5月に開いた地区協議会の職業奉仕部会で、カウンセラーの漆崎氏のお話をまとめた「職業奉仕について」に、ロータリーの4つの奉仕部門を大樹にたとえ、根がクラブ奉仕、幹が職業奉仕、その枝葉が社会奉仕と国際奉仕と解説されています。また通常の職業の概念は、オキュペーションやビジネスという言葉ですが、ロータリーでは、ボケーションを使っています。

(1) ロータリー・職業奉仕の歴史的概要

国際ロータリーの歴史は、綱領、職業奉仕の確立、4つのテスト、ロータリーボランティア、職業宣言など、他の奉仕団体とは違うプロセスです。また、そこで職業奉仕の解釈、奉仕の解釈など100年近く論議がなされています。

(2) 当クラブ・職業奉仕の流れ(概要)

当クラブの設立当時は、会員相互の理解とクラブ活動を円滑にするため、親睦が中心で旅行時の工場見学が職業奉仕のスタートで、4つのテストの普及、卓話への組み入れ、フォーラム、職業活動表彰などを実施してきました。以後、職業奉仕はロータリーの金看板、綱領、職業倫理の意味と必要性など基本を理解推進するプログラムが組まれました。近年、その理念と現実との関係に触れるようになってきています。

9月の「地区職業奉仕委員長会議」でも、職業奉仕の実践と意義についてさまざまな論議がなされました。この流れを汲んで今日の協議会では、先に実施した会員のアンケートをもとに進めたいと思います。

3. 私はこう考え実践している(司会 武下副委員長)

1) 「良い仕事」ー財務コンサルタント(横山会員)

私の仕事は、財務コンサルタントとして企業の資金繰りを安定させてクライアントが事業に専念できる体制づくりをすることです。財務データの作成、戦略立案、戦略の実施支援といったことが具体的な業務になりますが、クライアントが業務遂行のプロセスと結果に満足して笑顔と共に対価を支払ってくれることが「良い仕事」の基準だと考えています。そして、よい仕事を続けることが結果的に「職業奉仕」になると思っています。また、会社経営での10年間の試行錯誤と反省から「よい仕事はよい人材だけができる」という当然の結論に至り、よい人材の条件は①心意気がある②結果を出す③コストパフォーマンスが分かる④常に感謝の気持ちを持っている。⑤向上心がある、ことだと考えています。なお、社内ではこの5条件をその頭文字から「コケッコ」と冗談半分に呼んでいます。

2) 「適正利益の配分」ー不動産(荒木会員)

アンケートに対し、企業内の意識改革・向上に、ロータリーの綱領・4つのテスト・職業宣言を参考にし、特に商売では公平かどうか、常に適正利益の配分に留意するよう心掛けていますと回答しました。このことは、公正で公平な取引から自ずと適正利益は配分され、競争原理の働く市場経済の基ではごく当然のことです。しかし、昨今の厳しい経済情勢の中では、利潤の上からない分を弱い相手との取引で過度の利潤を上げて、辻褄を合せようとしたくなるものです。私共の業界、不動産賃貸業に於ても日常的に不正・不公平となりがちな取引があります。実例をあげますと、特に住居系の賃貸住宅(貸マンション・貸アパート等)で借主が賃貸契約を解約し立退く場合に、原状回復条項を貸主が拡大解釈して借主に過大な工事費負担を負わせるケースです。これは借主が多くの場合既に立退いており、敷金等の担保を貸主が押えているため、借主が非常に弱い立場となることから不公平な取引となり、結果として貸主に適正利益以上の利益配分がなされるわけです。この事例は、現在全国的に問題化しております。ここで一番大切なことは、商売は常にどのような相手に対しても、公正で公平であらねばならないという職業倫理を企業内でより高めていくことだと思っております。

3) 「3者がすべてHappy」ー人材紹介(圓谷会員)

私の職業は人材紹介、もっと端的に言うとうヘッドハンターです。「転職」のお手伝いを通じて、世の中の人々に「天職」を見つけてもらう仕事です。案件を決めるために、虚偽の説明をしてその場はうまくまとまっても、後で候補者やクライアントに睨まれ、結局信頼を失い、その後は多分仕事の依頼は来なくなるはずで、です。ですから仕事の上では、常にロータリーの「4つのテスト」を心で唱えながら、目先の利益に捕らわれないように心がけています。クライアント、候補者双方がHappyになれば私もHappyになり、「三方一両損」ならぬ「三方すべてHappy」ということになり、世の中の人々をHappyにする仕事であれば、それ自体が職業奉仕であり、職業を通じて世の中に奉仕するというロータリーの精神そのものだと思います。

ですから、私の場合には職業奉仕は全く難しいものではなく、日常の仕事そのものだと思っています。未熟な考えでしょうか?

4) 「会社存続との関連」ー消防施設(宮本会員)

職業分類は消防施設工事、具体的には消火設備の設計施工の請負業を運営しております。業界にロータリアンは全くと見当りません。現在は不況の煽りを諸に受けて、信じがたい安価で受注を強いられています。品質の低下も見受けられ、業界の信頼を保つためにも、ロータリーの理念や良心の啓蒙運動が必要と思われるが、気の遠くなる実践計画であります。実践は足元からと、自分の職場から始めております。「奉仕の哲学」を役員に配布し、会議の最後の15分を勉強会と意見交換の場としております。この理念を全ての社員がどのように当嵌めていけるのか、課題としております。職業奉仕の理念を社員に伝えるのは、職場におけるロータリーの代表としてこれを実践するのが自然ではないでしょうか。

5) 「環境保全・社会貢献」ー複写機製造(開発会員)

職業奉仕の何たるか十分に理解出来ていないわけでは無いのですが、会社の大きな方向性の決定や方針づくりの一端に携わる立場の人間として、①企業倫理の確立 ②環境保全活動の徹底 ③社会貢献活動の推進等に尽力しているつもりです。

例えば昨年社内、従来からの「社員行動規範」を抜本的に変えました。この改革自体、私も強く主張した訳ですが、更に解説の中で家族や両親に自分の行おうとしていることを誇りを持って話せるか、新聞の記事になっても恥じることなくむしろ自慢出来るのか、そんな良心への問かけを真先にして欲しいと強調しました。

今日頂いた漆崎さんの本の中で「職業に倫理観をもって従事すること。良心に従って職務に励むこと」と書かれているのを読んで大層勉強になりました。

6) 「超私の奉仕」ー情報処理(立林会員)

ロータリーでいう職業奉仕という場合に使われる職業=Vocationという言葉には、regular employment(定職)、calling(稼業)、business(事業)、profession(専門職)、occupation(業務)等を指すものといわれている。

いずれにしても、職業には①社会的活動への参加②個性の発揮、③生計の維持等の目的がある。これ等の意味をもつ職業も時代の変遷と共に、ブルーカラー→グレーカラー→メタルカラー→ゴールドカラーと従事者の数が増え変化してきている。又、仕事のやりがいも過去と現在と未来で大きく変わってきている。過去に於ては、名声・知名度、高収入等であったが、現在や未来に於ては自由時間、創造的人間としての認知、仕事と遊びの一体化、金銭より尊敬と愛情で報われること等である。

さて、次に「奉仕」についてであるが、21世紀の指導的原理といわれる「自己組織化」の概念を採用して簡単に述べたい。

人間社会の相互作用が大きすぎると、カオス的になるし、相互作用が小さすぎると秩序はもたれず発展もなく停滞する。つまり秩序とカオスの境界領域に於て、バランスを保つ智慧として「超私の奉仕」を捉えるのも現代的な解釈と考えるのがいいかなのではないでしょうか。

4. 意見交換

5. 講評(加来千代田地区ガバナー補佐)

忌憚のない意見の交換でRCの活動として非常に有益な話し合いだった。職業奉仕については、抽象的な倫理観に終わる傾向があるが、新南RCの話し合いは具体性を帯びているところに力強さを感じた。

6. まとめ(渡部会長)

有益な具体的な意見が多数出てきたが、いうまでもなく、職業奉仕は実践することにある。新しい発想と実践を明日からの活動に生かしていきたい。

東京新南ロータリークラブ

会長: 渡部一元 副会長: 西澤正雄 幹事: 小杉真史
〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004

例会日: 毎週金曜日 12時30分

例会場: 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

<会報委員>

相澤 成憲、福島 賢哉、後藤 信夫、
後藤 完夫、加藤 昌明、清原 元輔、
村山 公士、田中 武、圓谷 正和、
保森 登、吉岡 琢磨、吉田 武